

よりよい学校教育のために



8月31日(火)に株式会社野寺商店(高田)より、学校教育事業に対して20万円を寄附していただきました。(株)野寺商店は今年1月に創業100周年を迎えたため、地元への感謝の気持ちを込め、教育施設などへ寄附することにしたとのことでした。野寺兼次代表取締役は「日本の教育の質を上げ、子どもたちが世界にはばたき、活躍できるような学校教育になっていくよう期待を込めて寄附しました」と思いを語りました。

いただいた寄附は、次世代を担う子どもたちのため、学校教育の場で使わせていただきます。

子どもたちへ遊具の贈り物



8月10日(火)に株式会社双運管理(宇田)と株式会社榎元工務店(春日井市追進町)より、日吉小学校に遊具を寄附していただきました。(株)双運管理の村田素彦代表取締役は「自分が住み、会社を営む養老町へ恩返しをしたいと思い、子どもたちが楽しく安全に遊べるようにと遊具を寄附しました」と話しました。児童を代表して、6年生の久保山季咲さんは「全校のみんなで仲良く楽しく遊びます」と感謝の言葉を述べました。寄附された遊具が披露されると、子どもたちは待ちわびた様子で、さっそく楽しそうに遊んでいました。

子どもたちへおいしい食事を届けるために



8月21日(土)に今年度第2回目の「ようろうこども食堂」が実施されました。新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、テイクアウト方式で50食分を準備しました。「ようろうこども食堂」は、すべての子どもたちが健やかに成長することを願い、食育も兼ねた事業です。今年度よりNPO法人いちごが主体となり、彩りや栄養が考えられたお弁当をまごころ込めて作っています。

「ようろうこども食堂」は年間4回の実施を予定しています。第3回は12月11日(土)の予定です。申込方法は、広報養老11月号またはチラシにてお知らせいたします。

※食材などは、町内の賛助会員様・その他の支援者様からいただいたものを活用しております。